

## 計画を推進するための施策事例

## ◆ 立地適正化計画における補助制度を活用した施設整備事例

## ◎神奈川県大和市

## 【立地適正化計画における目的】

- ・子育て世代を中心とした生産年齢人口の定住と呼び込みによる世代間人口バランスの確保

## 【内容】

- ① 「北のまち」に不足する多世代・地域交流の場を創出するため、交流施設や教育文化施設等の整備を行い、同駅周辺の拠点性強化を図る。
- ② 子育て支援施設や子どもが遊べる公園などを新たに整備し、子育て環境の充実を図る。

## 「中央林間地区都市再生整備計画事業」

- ・計画期間…平成 29 年度～平成 33 年度
- ・面積 28.1ha
- ・中央林間駅前の東急中央林間ビルリニューアル工事に合わせ、一部のフロアを活用し、図書館、子育て支援施設、市民課窓口を整備
- ・駅周辺の公的不動産（旧市営緑野住宅跡地）を活用した、多世代や地域の交流を深める場としての地域交流センターや子どもが遊ぶ公園の整備
- ・また、地域交流センター内には子どもの活動のための活動スペースを整備 等

## 《実施イメージ》



子育て支援施設  
(東急中央林間ビル)

- ・子育て中の親同士が交流できる場、子育てに関する情報提供の場、子育ての悩みを気軽に相談できる場や、子育て世代の社会活動を支援する一時預かり、送迎ステーション等の機能を有した施設を整備



地域交流センター  
(旧市営緑野住宅跡地)

- ・市民交流スペース、屋内活動スペース、子ども活動スペース等、多世代や地域の交流を深める場を整備



図書館、市民課窓口  
(東急中央林間ビル)

- ・誰もが気軽に立ち寄ることのできるような図書館を中心に、子育て支援施設や市民課窓口を整備



## 「次世代ステーション創造事業（鉄道駅総合改善事業）」

- ・小田急中央林間駅の駅施設改修や改札口新設に合わせ、駅施設と一体となった保育施設を整備

## ◆ 立地適正化計画における補助制度を活用した施設整備事例

## ◎千葉県成田市

## 【立地適正化計画における目的】

- ・魅力的な拠点形成に向けた高次都市機能の誘導

## 【事業内容】

## ◆高次教育機能（大学）の誘導

平成 28 年 4 月に公津の杜駅前に国際医療福祉大学看護学部・保健医療学部が開学。今後、君津の杜地区において、工事教育機能（大学）の誘導に向け都市機能立地支援事業を活用し、看護学部・保健医療学部の隣接地にて、同大学医学部の整備を推進。

## 「都市機能立地支援事業（公津の杜駅周辺地区大学医学部）の概要」

- ・平成 29 年度事業完了
- ・施設用途…国際医療福祉大学 医学部校舎
- ・校舎規模…鉄筋コンクリート 6 階建て（1～2 年生棟）  
鉄筋コンクリート 11 階建て（3～6 年生棟）  
敷地面積 14,827 m<sup>2</sup>  
建築面積 5,518 m<sup>2</sup>  
延床面積 47,107 m<sup>2</sup>
- ・入学定員数…140 名（うち 20 名は国際枠の留学生）  
収容定員 840 名
- ・教職員数…200 名（うち 10 名以上は外国人）

## 《医学部棟（2017.3）》



※国際医療福祉大学 HP より引用

## 計画を推進するための施策事例

### ◆ 立地適正化計画における補助制度を活用した施設整備事例

#### ◎埼玉県鳩山町

##### 【立地適正化計画における目的】

- ・日常生活に必要な都市機能を都市機能誘導区域内に維持，または立地の促進

##### 【内容】

- ・都市再構築戦略事業等の活用により，都市機能誘導区域内に子どもから高齢者，健康な人から介護が必要な人まで，さまざまなフェーズに合わせた医療・介護・福祉サービスを提供していくことが可能な（仮称）福祉・健康複合施設の整備を推進
- ・様々なサービス提供主体と連携し，（仮称）福祉・健康複合施設を拠点とした町全体へのサービス提供を図る
- ・（仮称）福祉・健康複合施設において，子どもから高齢者を対象とした事業を実施し，多世代と交流・協働する場の提供を推進
- ・特に，現在不足する都市機能については，サービス提供事業者への運営支援等を検討している。

##### （仮称）福祉・健康複合施設の整備の概要（都市再生構築戦略事業）

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が著しい鳩山ニュータウン地区において、閉校した小学校跡地を活用して、「（仮称）福祉・健康複合施設」を建設します。</li> <li>・民間事業者による特別養護老人ホーム、福祉・健康・医療に関わる様々な取り組みを進める地域包括ケアセンター、旧小学校校舎を再活用した多世代活動交流センターなどを整備することで、幅広い分野の人が関わり支えるソーシャルキャピタルの中核を担う施設とします。</li> </ul>
整備施設	<p>【特別養護老人ホーム（イメージ）】</p> <p>○特別養護老人ホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特別養護老人ホーム：90床（介護老人福祉施設）</li> <li>②短期入所生活介護：10床（ショートステイ）</li> </ul> <p>○地域包括ケアセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①療養通所介護（医療等に関する相談窓口・訪問介護を含む）</li> <li>②地域包括支援センター（ボランティアセンター・生活支援センターの機能を含む）</li> <li>③地域の交流スペース（介護予防事業等を行うことができる屋内施設）</li> </ul> <p>○多世代活動交流センター（改修）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①耐震改修</li> <li>②多目的集会室の整備</li> <li>③エレベーターの設置</li> </ul> <p>【地域包括ケアセンター（イメージ）】</p>
整備用地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳩山ニュータウン内にある町有地（主に旧町立松栄小学校用地）：26,565m<sup>2</sup></li> </ul>
整備手法 （介護関係施設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム：民設民営での整備</li> <li>・地域包括ケアセンター：公設公営（一部指定管理）</li> </ul>

### ◆ 立地適正化計画における補助制度を活用した施設整備事例

#### ◎茨城県土浦市

##### 【立地適正化計画における目的】

- ・行政による誘導施設の整備・誘導

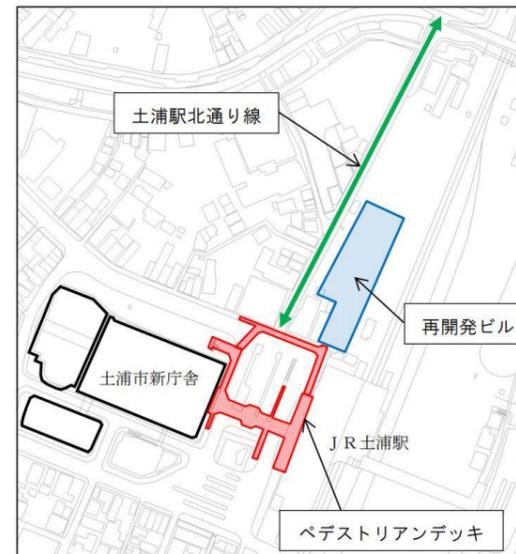
##### 【内容】

- ・土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業による土浦駅前への図書館・ギャラリー整備などのように，公共施設等の複合機能化を図り，効率的で効果的な行政サービスを提供する。

##### 土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業

- ・土浦駅前地区市街地再開発事業地区（ウララ）に隣接する，土浦駅前北地区に図書館を含む複合施設（施設棟）と住宅（住宅棟）を核とした市街地再開発事業により，都市基盤の整備を推進し，まちなか居住，賑わいの創出，中心市街地の活性化を図るため，平成18年6月に都市計画決定し事業を進めてきた。
- ・平成29年 事業完了，図書館オープン
- ・施行地区面積…0.8ha
- ・地域地区…商業地域，高度利用地区，準防火地域，一部防火地域
- ・敷地面積…約5,020m<sup>2</sup>      ・建築面積…約4,080m<sup>2</sup>      ・延床面積…約13,260m<sup>2</sup>
- ・建ぺい率/容積率…約82%/約206%      ・構造/階数…鉄骨造/地上4階      ・高さ…約27.5m
- ・主要用途…図書館，ギャラリー，業務店舗，銀行，交番

##### 《事業箇所図》



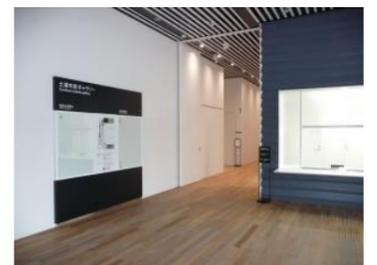
##### 《再開発ビル》



##### 《図書館》



##### 《ギャラリー》



※土浦市 HP より引用